

# ベトナムで合材事業 ハノイ郊外に工場建設

NIPPO

NIPPOがベトナムの道路舗装会社に資本参加し、同国でアスファルト合材事業に進出した。提携先はハノイ市に本社を置く「703 CONSTRUCTION AND INVESTMENT JSC (コインコ703)」。資本提携を通じて保有する技

術を移転し同国の良質なインフラ整備に貢献していく。コインコ703は出資金を活用しハノイ市郊外の工業団地に合材工場を新設する。

コインコ703は国道や高速道路の舗装工事に強みを持ち、同国で3カ所のアスファルト合材工場を運営している。NIPPOは同社の経営資源に着目し、2018年から資本参加に向けた交渉を続け昨年8月に

株式の51%を取得した。

同国ではアスファルト合材を工事用の仮設プラントで製造するケースも多い。都市化の進展に伴い環境対策に乏しい仮設プラントでは操業が困難になる可能性もあり、定置式の合材工場を新設することにした。年内に着工する予定だ。

NIPPOの吉川芳和社長は1月16日に資本参加後初めてコインコ703を訪問。レイ・トゥー・バン会長、チェオ・ホン・トゥエン社長らと行った意見交換会で、吉川社長は「お互い

の信頼を維持することを忘れず何でも話し合い、日越双方の飛躍につなげたい」と語った。バン会長は「さらなる企業成長の機会にしたい」と意欲を見せ、トゥエン社長も「ベトナムの建設市場は厳しいが、NIPPOと力を合わせ頑張りたい」と決意を表明した。

両社は将来的にアスファルト合材の再生やりサイクルに取り組むことにも合意。新設する合材工場もアスファルトの再生設備を付加できるように計画している。



吉川社長(右)とバン会長  
(報道発表資料から)

# 越のアス合材進出

## 良質インフラ整備に貢献

NIPPO

NIPPOは、ベトナムの道路舗装会社「703 CO



バン会長(左)と吉川社長

STRUCTION AN D INVESTMENT」(コインコ703、ハノイ市、チエオ・ホン・トゥエン社長)へ資本参加し、同国でのアスファルト合材事業に進出した。保有技術を移転して同国の良質なインフラ整備に貢献する。

コインコ703は、国道や高速道路の舗装工事に強みを持ち、工事用を含め3か所のアスファルト合材工場を運営している。NIPPOは2012年の駐在員事務所の開設

以降、コインコ703の経営資源に着目し、22年8月に株式の51%を取得した。

同国ではアスファルト合材を工事用の仮設プラントで製造しているケースも多く、

「都市化が進むことで、環境対策が貧弱な仮設プラントでは、操業が困難になることも懸念される」(トゥエン社長)としている。そのため、コインコ703はNIPPOの出資金を活用し、ハノイ市郊外の工業団地に、安定操業が期待できる定置式の合材工場の建設を年内に開始する。

1月16日にはNIPPOの吉川芳和社長がコインコ703を訪問し、レイ・トゥー・バン会長、トゥエン社長らと

意見を交換した。冒頭、吉川社長が「お互いの信頼を維持することを忘れず、なんでも話し合い、日越双方の飛躍につなげたい」とあいさつし、これを受けてバン会長は「NIPPOとの提携をコインコ703のさらなる成長の機会にしたい」と述べ、トゥエン社長は「ベトナムの建設市場は厳しい状況にあるが、NIPPOと力を合わせて頑張りたい」と決意を表明した。

両社は、将来的にアスファルト合材の再生・リサイクルに協働で取り組むことに合意しており、建設する合材工場もアスファルトの再生設備を付加できるよう計画している。